



第 12 回

さくらサミット in 幸手

プログラム

開催日 平成 12 年 4 月 9 日(日)10 日(月)
会場 アスカル幸手
主催 埼玉県幸手市

❀ 目次 ❀

さくらサミット憲章	1
ごあいさつ	2
タイムスケジュール	3
講師プロフィール	4
参加自治体一覧	5
参加自治体地図	6
さくらサミット加盟自治体紹介	
北海道静内町	7
宮城県柴田町	8
秋田県角館町	9
福島県富岡町	10
茨城県日立市	11
群馬県鬼石町	12
埼玉県北本市	13
東京都北区	14
新潟県上越市	15
新潟県加治川村	16
長野県高遠町	17
岐阜県根尾村	18
奈良県吉野町	19
鳥取県西伯町	20
島根県木次町	21
島根県美都町	22
高知県佐川町	23
長崎県大村市	24
熊本県水上村	25
宮崎県北郷町	26
埼玉県幸手市	27



✿ さくらサミット憲章 (平成元年 9 月 22 日制定) ✿

Success / 成功

第 1 条：
今後ともさくらサミットを開催し、サミットとサミットに参加するそれぞれの自治体のまちづくりを成功させるため互いに取り組みを進めます。

Approach / 接近

第 2 条：
「21 世紀のまちづくり」という目標を限りなく実現に近づけるため、相互に連携、協力しあって花を咲かせることができるように努めます。

Keyword / 言葉

第 3 条：
まちづくりの共通標榜である「桜」をキーワードとして「桜」に関する人や物の交流、情報の交換を行い、新しいまちづくりの手がかりを見出します。

Unity / 調和

第 4 条：
文化、教育、福祉、産業、観光そして災害対策などにおいて、相互の連携、協力をとり、調和のとれたまちづくりを行うよう心がけます。

Relation / 縁

第 5 条：
「桜」によって結ばれた縁を大切にし、互いに友好を深め、21 世紀に向かって前進していきます。

Agreement / 合意

第 6 条：
共通の目標に向け、ふれあいと連帯を築き、それぞれの自治体の進展と住民の生活文化向上に努めることに合意します。

＊ごあいさつ＊

幸手市長 増田 実



ハッピーハンドシティー幸手市へようこそ。心から歓迎いたします。

私たちのまち幸手市は、豊かな自然と先人の培ってきた歴史に支えられ、古くは日光街道の宿場として、また近年は首都近郊の住宅都市として発展してまいりました。

私は、市長に就任して8年目を迎えますが、市長に就任当初より「誇れるまち、有名なまち、そして、市民誰もが住んで良かったと思える街づくり」の実現に向け、市政に取り組んでまいりました。その中でも特に「さくらのまち 幸手」をスローガンに桜10万本運動に力を入れてまいりました。

こうした中、本市の権現堂堤で1,000本の桜が咲き誇る第70回「幸手桜まつり」の開催期間中に、第12回「さくらサミット in 幸手」を開催できますことは誠に意義深いものであり、ご参加いただいた皆様方を始め関係各位に厚くお礼申し上げる次第であります。

今回のサミットのテーマは、さくら「新発見」「新情報」～幸せの手でつかむ桜の未来～でございます。本日お集まりいただきました各自治体におかれましては、いずれも桜をテーマにした個性あるまちづくりに全力で取り組んでおられる訳でございますが、本日はそのような各自治体の個性ある先進的な桜への取り組みや情報発信について、貴重な意見交換ができるものと大いに期待を寄せているところでございます。

また、本日は日本さくらの会の理事でいらっしゃる土屋桃子先生を講師にお招きし、「桜を慈しむ人びと」を演題に基調講演をお願いしており、桜育成に携わった人びとについてご講演をいただくこととなっております。

最後になりますが、この第12回さくらサミットを本市において開催させていただくにあたり参加自治体の皆様はもとより、コーディネーターの篠田伸夫先生を始め、関係各位のご協力をいただきましたことを心から感謝申し上げますとともに、本日ご参加いただきました皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

平成12年4月9日

＊ タイムスケジュール ＊

4月9日(日)

13:30 開会

13:50 基調講演

講師：土屋桃子 / (財)日本さくらの会理事

テーマ：「桜を慈しむ人びと」

14:30 サミット会議

参加自治体：18 団体

コーディネーター：篠田伸夫 / 全国町村議会議長会事務総長

テーマ：さくら「新発見」「新情報」

～ 幸せの手でつかむ桜の未来～

共同宣言・次期開催地発表

16:30 閉会

18:00 交流会

19:45 夜桜見学

21:00 終了

4月10日(月)

8:45 記念植樹

9:15 幸せの手形取り

10:45 さいたま新都心見学

12:00 昼食

13:00 解散

＊講師プロフィール＊

土屋 桃子（つちや・ももこ）

（財）日本さくらの会理事 / プラス・グループ
代表取締役

“日本の文化を内外に広報する”というライフワークにとりくみ、プロデューサーとして水、緑、花、土、生活など普遍的なテーマをベースに、まちづくりから広報ツールの企画、制作まで幅広く文化活動に力を注いでいる。

- ・ さくらを通して日本人の心を見つめ直す
“マインド・ルネッサンス”運動を推進。
「さくらの日制定推進」「全国学校へのさくら植栽事業」「さくらコンテスト」等を企画、実施
 - ・ 1984年より日本の美術品をテーマとした美術ダイアリーの企画、制作
 - ・ 1988年10月より月刊誌「水の文化情報誌 FRONT」を企画、制作。
 - ・ （財）日本さくらの会及び建設省関東地方建設局提唱による「さくら」を縁とする荒川・ポトマック川姉妹河川交流活動を推進。
- 等、数々のプロジェクトに関わっている。



篠田 伸夫（しのだ・のぶお）



全国町村議会議長会事務総長・前自治省消防庁次長。1943年鳥取県生まれ。1967年京都大学法学部卒業後、自治省入省。青森県地方課長、出雲市助役、消防庁救急救助室長を経て、87年より岐阜県総務部長兼博覧会推進局長として「ぎふ中部未来博覧会」を成功に導く。89年自治省振興課長、90年東京都総合計画部長、行政部長、93年岐阜県副知事を経て、97年1月より消防庁次長を務める。98年7月より（財）救急振興財団副理事長、2000年4月より現職。

✿ 参加自治体一覧 ✿

- | | |
|----------|------------|
| 1 北海道静内町 | 10 新潟県加治川村 |
| 2 宮城県柴田町 | 11 長野県高遠町 |
| 3 秋田県角館町 | 12 岐阜県根尾村 |
| 4 福島県富岡町 | 13 奈良県吉野町 |
| 5 茨城県日立市 | 14 島根県木次町 |
| 6 群馬県鬼石町 | 15 長崎県大村市 |
| 7 埼玉県北本市 | 16 熊本県水上村 |
| 8 東京都北区 | 17 宮崎県北郷町 |
| 9 新潟県上越市 | 18 埼玉県幸手市 |

❁参加自治体地図❁



北海道静内町

市区町村の概要

雄大な日高山脈と太平洋に囲まれた競走馬のふるさと日高地方の中核都市。農林漁業の他、各種の産業が発達した人口 23,200 人、10,000 世帯の緑豊かな町。

さくらの概要

直線 7km“ 日本一の桜並木 ”として知られる二十間道路桜並木。道路幅が二十間(36m) あることから二十間道路と呼ばれ親しまれるようになったこの道の誕生は明治 36 年のこと。当地を訪れる皇族等を迎えるために、幅二十間・長さ 2 里(8km)という雄大な行啓道路が造成され、桜の植栽は大正 5 年から 7 年にかけて 3 年の歳月を費やして当時の御料牧場職員が近隣の山々から移植し行われた。風雪に耐え、幾多の存亡の危機を乗り越え咲き続ける桜は、ほとんどがエゾヤマザクラである。

この桜並木は、樹齢 80 から 90 年と推定される老木樹であり、腐食や病気等により樹勢の衰えが随所に見受けられ早急な対策を検討していたが、平成 11 年度より、二十間道路桜並木の約半分を占める農林水産省用地において、本格的な樹木の調査治療が開始された。これは 3 ヶ年で総事業費約 2,500 万円を費やし、樹木の調査治療などを徹底的に実施しようとするもので、同時に懸案事項であった桜杜等専門員による桜の調査・研究・維持管理へ向けての大きな前進となるものである。

また、昨年町民有志の熱意により、観光を主としたまちづくりに民間サイドから支援する団体が組織され、12 月には、静内町の貴重な財産である「二十間道路桜並木」を含めたエゾヤマザクラをはじめとする観光資源の保護、育成を主とした観光振興事業に要する経費の財源とするための、「観光振興のための基金に関する条例(静内町さくら基金)」が制定された。



宮城県柴田町

市区町村の概要

東北唯一の政令指定都市仙台市から南へ 25km、町中央部を白石川が流れる人口 38,000 人、世帯数 12,000 の県内最大規模の町。温暖な気候で稲作をはじめ花や果樹栽培等が盛んな一方、東北の町村で第 4 位の製造品出荷額を誇る工業の町でもある。

さくらの概要

毎年 4 月 10 日から 25 日までの期間で、さくらまつりが開催されている船岡城址公園は樹齢約 92 年のソメイヨシノなど 1,000 本余りが咲き乱れる。船岡城址公園は、町南西部に位置する独立形山状の四保山にあり、歴史をたどってみれば戦国時代に船岡城が築城され、後に原田家が治めているのは、山本周五郎作「樅の木は残った」でご承知のとおりである。また白石川堤の桜は、「一目千本桜」の愛称で親しまれ、柴田町から大河原町に至る総延長 8km に約 1000 本のソメイヨシノが植えられている。この桜は、大正 12 年 4 月白石川堤防改修工事完成記念として植樹され、残雪をいただく霊峰蔵王を背景にした景観は県内屈指の桜の名所として観桜客の目を楽しませている。

樹齢が 77 年を越す老木が多く、毎年の施肥や剪定等によりその樹勢を何とか保っている状態であり、次世代への継承のため補植が必要となっている。平成 5・6 年度に県事業による「白石川桜つつみ事業」が実施され、堤防の外側延長 1100m に盛土を施し、堤防の強化を図りながら堤防上に桜の植樹・遊歩道・休憩所等を整備したものである。さらに整備を進めたいが、堤防外側の盛土部分の用地確保が困難なため今後の事業実施は困難な状態である。



秋田県角館町

市区町村の概要

秋田県の中央内陸部に位置し、人口約 15,200 人、4,900 世帯、清流玉川と桧木内川の合流域に沿って開けた町。元和 6 年の町並みが現存し、国の伝統的建造物群保存地区に選定され、武家屋敷と共に独特の景観を呈している。

さくらの概要

毎年春、武家屋敷地内に 400 本余りのシダレザクラが咲き誇る。一方、町の中央を流れる桧木内川堤に 2km の桜並木がある。昭和 6 年、政府は経済不況と凶作にあえぐ東北地方救済のため、東北振興事業をおこした。角館町はこれを桧木内川左岸堤防の築堤及び護岸工事にあて、7 年起工、翌 8 年完成。この年、天皇陛下が誕生され、翌 9 年に 600 本を記念植樹した。その後、桜は見事に生長し、367 本の桜を含めたこの景観が、わが国の優れた国土美として認められ、国名勝として指定された。



福島県富岡町

市区町村の概要

福島県浜通り地方の中央に位置し北は大熊町、西は川内村、南は楢葉町とそれぞれ境を接し、阿武隈山地と太平洋との間に広がる東西 12.7km、南北 9km とやや短形の面積 68.47km、人口約 16,000 人の町。

さくらの概要

昭和 40 年代初頭からの電源開発により、地域社会経済が目覚しく発展してきたが、大規模プロジェクトが峠を越えた現在、21 世紀に向け「ポスト原発」を合言葉に電源立地町として特色ある町づくりを目指し、地域振興を推進している。

本町の桜はほとんどが「ソメイヨシノ」であり、町内に約 2,000 本植えられている。その歴史は、明治 33 年に農村開発のモデルとして当地に入植した半谷清寿氏が農場や宅地の周りを半谷農場として開拓し、約 300 本のヨシノザクラをはじめ種々の樹木を植えたのがはじまりである。次男の六郎（のちに町長）は、父の意志を継いでこの地をサクラの名所にしようと、明治 44 年に約 1.5km の道の両側に約 300 本のサクラを植えその後もサクラを増やし続けた。一時期公園敷地の一部が「日本サクラの会」の所有となったが、昭和 55 年それを町が買受け、夜の森公園として都市計画決定を受け都市公園として位置づけた。更に昭和 56 年「緑の文化財」、昭和 60 年「ふくしま緑の百景」の指定を受け、現在に至っている。



茨城県日立市

市区町村の概要

水戸藩主徳川光圀が、「日の立ち昇るところ領内一」と讃えた古事から「日立」の地名となった。市民運動が盛んで、現在「創造とふれあいの都市・日立」を目指し生活圏の拠点性を高める事業の展開を進めている。人口 194,774 人、世帯数 73,123 のまち。

さくらの概要

大正初め日立鉱山が煙害対策のため、オオシマザクラの苗を大量生産（約 15 万本）し、山林に植えることを奨励。その後、鉱山社宅にソメイヨシノを植栽し、一大花見の名所を造成した功績を讃え、日立製作所役員が“桜塚”を贈るという事業が行われ、美德として語り継がれ現在でも保存されている。

行政も昭和 20 年代後半「平和通り」や「かみね公園」にソメイヨシノを植樹し、平成 2 年には「日本のさくら名所 100 選」に選ばれた。さくらシーズンには、市内・外から 50 万人近い観光客が訪れる「日立さくらまつり」が開催され、会場となる「平和通り・かみね公園」では、国指定重要文化財「日立風流物」の公開などイベントが催され、夜には、さくらのライトアップで幽玄な世界をかもしだす。



群馬県鬼石町

市区町村の概要

群馬県の西南部に位置しており、人口 7,700 人、2,400 世帯、気候は温暖で、美しい山々や清らかな流れの自然に恵まれる町。

特産品には全国一を誇る冬桜の名所三波川で栽培されるりんご等がある。

さくらの概要

明治 41 年、国から払下げを受けた山林に三波川の村長が、日露戦争の戦勝を記念して桜の苗木 1,000 本を村民の協力を得て植栽。この中に冬桜の苗が混じっていたと思われ、一部が 3～4 年後の冬に開花。年を経るに従い桜樹中の約 3 割が毎年同期に開花、美観を呈するようになった。昭和 12 年には、名勝天然記念物「三波川（桜）」として国の文化財指定を受けている。昭和 48 年、山林火災により冬桜の大部分を焼失したが、住民の協力により復興した。現在の桜山公園は、平成 2 年度完成した「県立桜山森林公園」を含め 45ha の森林公園で、年間 20 万人以上の観光客を迎える観光拠点である。7,000 本の冬桜は、春と冬の二度美しい花を咲かせる幻想的な桜で、殊に冬には周辺の紅葉と見事なコントラストを描く。



埼玉県北本市

市区町村の概要

埼玉県のほぼ中央に位置し、東京から 40～45km 圏にあり、面積 19.84 平方 km の首都圏の住宅都市として発展してきた。

市内に平地林が多く点在していることから将来都市像を「緑にかこまれた健康な文化都市」と掲げ、桜や四季の花々が咲き誇る豊かな自然と都市が共生したまちづくりに向け、現在様々な施策を展開している。

桜は、昭和 52 年度に市の木として指定された。平成 9 年度に市のイメージを高めるため、市民と行政が一体となって魅力あるまちづくりを推進するための指針として、「北本市イメージアップ推進計画」を策定し、「感動桜国きたもと」をキャッチフレーズとし、「感動桜国」を「観せる」、「伝える」、「創る」という 3 つの展開方針に沿って、事業を推進している。

さくらの概要

北本市の桜には、日本五大桜（福島県三春の滝桜、山梨県山高の神代桜、静岡県狩宿のゲバ桜、岐阜県根尾谷の淡墨桜）の一つで、大正 11 年に国の天然記念物に指定された樹齢約 800 年の「石戸蒲ザクラ」、市の天然記念物として指定されている樹齢約 200 年の「高尾エドヒガンザクラ」、ソメイヨシノの名所として市民に親しまれている「城ヶ谷堤の桜」など、数多くの桜があり、平成 7 年には石戸蒲ザクラの後継樹や北本市に移られた方々の故郷から送られた 11 種 182 本の様々な種類の桜を植栽した「高尾サクラ公園」を開設し、毎年多くの方が訪れている。

また、市内の雑木林には、大宮台地における全ての自生種、ヤマザクラ、エドヒガンザクラ、シダレザクラ、ウワミズザクラ、イヌザクラが今なお健在に自生しており、街路樹として八重桜や企業内の緑地にソメイヨシノなど多くの桜が植栽されている。



東京都北区

市区町村の概要

東京の北の玄関口に位置し、平成 10 年「第 10 回さくらサミット in 北区」が開催され、全国に桜文化が発信された人口約 32 万人のまち。桜の名所地「飛鳥山公園」に同年全国初の公・民営の 3 つの博物館が同時に開館したほか、東京初の防災センターや、古河庭園、桜の名所の岩淵水門などを有する。

さくらの概要

東京の桜の名所の一つである飛鳥山公園の桜は、徳川八代将軍吉宗の時代に植栽され絶好の行楽地として桜の名所地となり、現在も多くの花見客が訪れる。戦後数度の大規模改修が行われたが、現在では飛鳥舞台や井桁噴水など桜と水と自然石の調和による趣豊かな歴史公園として評価されている。現在、荒川赤羽緑地の堤防に桜を植栽し、桜のプロムナードとして整備するほか、平成 10 年知水資料館も開設され、桜をシンボルにしたまちづくりが展開されている。



新潟県上越市

市区町村の概要

上越市は、奈良時代以来、越後国の政治・経済・文化の中心として栄え、いたるところに歴史遺産が残されている。とりわけ春日山城跡・福島城跡・高田城跡が知られている。

現在、人口 134,679 人、44,729 世帯であり、港湾整備、火力発電所の建設、上信越自動車道、北陸新幹線など数多くの大型プロジェクトが進行し、対岸諸国と三大都市圏のゲートウェイとして発展している。

さくらの概要

ソメイヨシノを中心に約 4,000 本の桜が植えられている高田公園では、毎年見頃となる時期にあわせて観桜会が開催される。ぼんぼりの明かりに照らし出され、お堀の水面に映る様は大変美しく、日本でも有数のものとして知られている。

歴史を溯るとこの桜は、陸軍第 13 師団の入城を祝い、在郷軍人団の呼び掛けにより集まった寄付をもとに、明治 42 年 3 月に 2,200 本の桜を植樹したのが始まりである。

昭和 50 年には、園内に桜見本園として変化に富んだ品種を植樹し、現在 10 数種の桜が訪れた人々の目を楽しませている。昭和 55 年、市の木として「桜」を制定した。

現在、公園一帯を一万本の桜で埋め尽くし、上越市を桜の都とする「一万本の桜が咲き誇るまちづくり」計画に取り組んでいる。平成 11 年度までに 9,389 本が植樹されている。



新潟県加治川村

市区町村の概要

北緯 38 度線が通る村「加治川村」は、日本有数の穀倉地帯である蒲原平野の北部に位置する人口 7,603 人、1,837 世帯の純農村である。豊かな自然に恵まれ、良質なコシヒカリを産出する「桜とコシヒカリの里」。

さくらの概要

国天然記念物「^{とちだいり}椽平桜樹林」

日本一小さい山脈である櫛形山脈の中央にある大峰山（399.5m）付近の山腹に桜の原始樹林帯があり、約 40 種、1,000 本以上の桜があるといわれている。

この桜は人工的に移植したものではなく、何万年も前に自生したものが長い年月の自然交配により多数の変種の山桜になったものである。昭和 9 年には約 117ha の桜樹林が国の天然記念物に指定されている。開花期は 4 月下旬から 5 月上旬。

大正天皇の即位等を記念して、大正 3 年に加治川堤 28km に桜 6,000 本を植栽した「長堤十里の桜並木」は日本一ともいわれ、花見客用の臨時停車駅もできるほどだったが、昭和 41 年、42 年の連続大水害による河川改修のためにすべて失われてしまった。しかし、現在では建設省の「桜堤モデル事業」に認定され、周辺 4 市町村で「桜の里親制度」等により復元されている。

平成 9 年に、大峰山のふもと 5.2ha に桜公園を開園。世界の桜 109 種類を植栽し、四季を通じて観桜できる公園をめざしている。



長野県高遠町

市区町村の概要

長野県南部の人口 7,400 人、世帯数 2,400 の山裾の城下町。特産品は歴史のある高遠饅頭、高遠焼、木材の彫刻製品が主なものである。

さくらの概要

高遠は鎌倉時代の高遠氏に始まり江戸時代の内藤氏まで城が形成され、南信濃の中心地として栄えてきた。戦国時代には武田信玄が本格的な城塞を築き、江戸時代は会津藩始祖の保科氏を始めとした高遠藩 3 万 3 千石が置かれ、城下町が発達した。廃藩置県により高遠城は取り壊され、あたりは一時荒廃したが、明治 8 年有志が近くにあった桜の植樹をして高遠城址公園としての整備が始まり現在に至っている。この桜はタカトオコヒガンザクラというコヒガンザクラの仲間としては大木となり花も赤みが強い特種な桜で、樹林は県の天然記念物に指定されている。



岐阜県根尾村

市区町村の概要

国指定天然記念物の淡墨桜をむらづくりのキーワードとして、桜の植樹運動を進めている。清流・根尾川が中央を流れ、四方を美しい緑の山々に囲まれた人口約 2,500 人、820 世帯の自然豊かな山村。

さくらの概要

樹齢 1,500 余年の淡墨桜は、第 26 代継体天皇のお手植えの桜と伝えられ、樹高約 16m、幹回り 10m、枝張りは東西 27m、南北 20m と桜では日本一の巨樹と言われ、日本さくら名所 100 選にも選ばれた。国指定の天然記念物、蕾のときは薄いピンク、満開に至っては白色、散りぎわには特異の淡い墨色をおびてくる。過去、幾度も雪害や風害により枯死の危機に陥ったが、山桜の根継ぎによる回生手術や作家宇野千代女史ら各界の保護活動によって、現在も盛観を保ち、昭和 55 年度から 10 年間で淡墨公園として整備され、毎年 4 月上旬には全国から 20 万人もの観光客が訪れる。淡墨桜を愛する人は、国際化の流れの中で、国内にとどまらず世界にも広がっている。平成 11 年 11 月アメリカ合衆国ポトマック公園に淡墨桜の苗木が植樹された。



奈良県吉野町

市区町村の概要

奈良県のほぼ中央に位置し、人口 12,030 人、3,800 世帯、市街地に接して約 30 平方キロメートルにも及ぶ国立公園がある。また、町のいたる所に名所、旧跡、文化財が散在し、緑豊かな自然観光地として広く知られている。

さくらの概要

吉野山は古来から桜の名勝地として知られているが、今から 1300 年前、山岳宗教『修験道』の本尊、蔵王権現のご神木となり、役行者の神秘的な伝承と修験道が盛行するにつれ蔵王権現を祀る金峯山寺への参詣も盛んになり、ご神木の『献木』となって植え続けられてきた。

全山で約 3 万本の桜が植栽されており、そのほとんどが桜の原点であるシロヤマザクラである。4 月上旬には麓の下千本から開花し、中・上・奥千本とおよそ 1 ヶ月かけて山を咲き昇っていく景色は見ごたえがある。

しかし、元々桜が育つには適地といえないのが吉野山である。平成 4 年頃から花の量や艶も少なく、目に見えて衰退してきた。その原因として、寿命や病害虫の発生、環境の変化が考えられた。その後、県を中心に『桜活性化検討委員会』が設けられ、提言に基づき様々な作業が実行され、また継続してきたことにより、樹勢回復の効果が少しずつ見えてきている。今後もその効果を維持していくために、関係機関と連携を密にし、絶えず桜樹林の管理を行っていく必要がある。



鳥取県西伯町

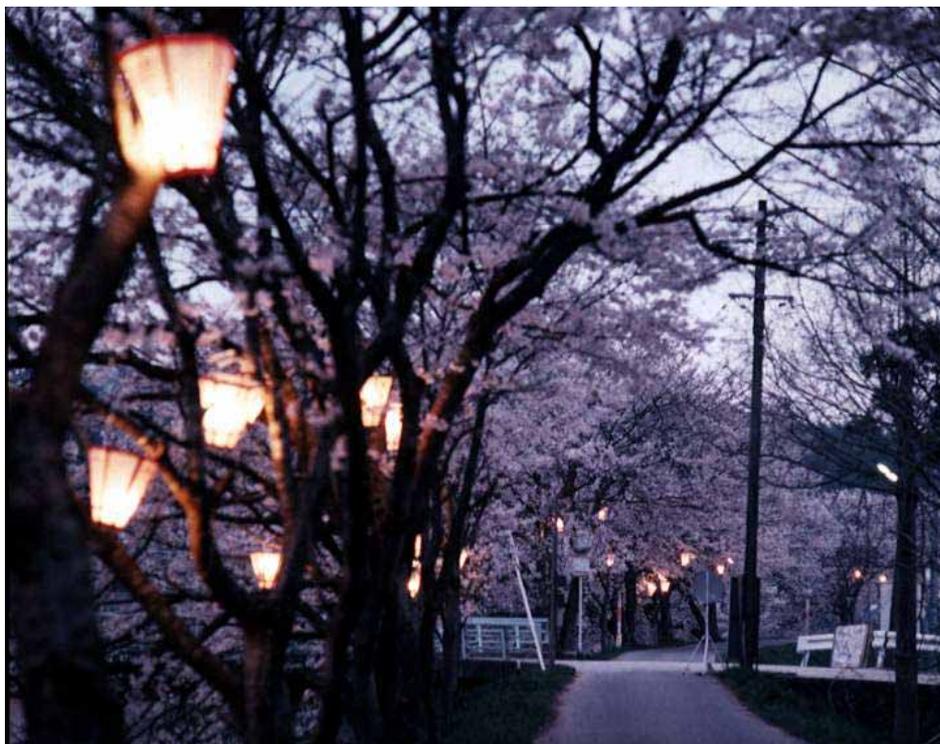
市区町村の概要

中国地方、山陰にある西伯町は鳥取県西部の島根県境に位置し、米と和牛、薪炭生産の町として知られている。農業構造改善事業や住宅団地造成、企業誘致等々により兼業化が進んでいるが、一方でダム湖を拠点とした観光開発にも着手している。人口 8,397 人、2,401 世帯のまち。

さくらの概要

江戸時代、出雲街道の宿場町として発達した西伯町では、法勝寺城山公園（法勝寺城跡）で例年 4 月上旬～中旬までを花まつり期間とし、この期間は町内外の住民の憩いの場になっている。期間中は公園一帯が桜の花に包まれるため、ボンボリが設置され、川面に映る夜桜見学も行なわれている。また、4 月中旬には、全国でも数少ない郷土伝統文化財「一式飾り」や、「上長田神社春季大祭」が行われ、中央公民館主催の地区住民の公民館まつりと共に桜のこの時期は一年で最もにぎわう時を迎える。

法勝寺城山公園及び法勝寺川堤防	1,000 本	ソメイヨシノ
妙見山公園	300 本	ソメイヨシノ
緑水湖周辺	1,000 本	ソメイヨシノ



島根県木次町

市区町村の概要

島根県出雲部の中央に位置し、古くから当地方の中心として栄え、現在は木次拠点工業団地を中心に企業誘致が進んでいる。また「健康の町」を宣言し「心、体、社会」の健康づくりを進めている。人口 10,400 人、世帯数 3000 の町。

さくらの概要

平成 2 年 3 月、「日本さくらの会」より、日本さくら名所 100 選に認定された「斐伊川堤防桜並木」は、斐伊川の清流に沿って約 2km にわたり、花の見頃には桜のトンネルとなり、中国地方随一の桜の名所としてその名を馳せている。

この斐伊川堤防の桜は、明治の終わり頃から町民の手によって植えはじめられ、本格的には昭和のはじめに堤防の両側に植えられた。当時の小学生が中心となり、自分が育てる桜を決めて管理が行われ、以来町のシンボルとなっている。

現在、斐伊川堤防など町の中心部には約 1,500 本の桜があり、きすき桜まつりの期間中（3 月 25 日～4 月 21 日）には、ぼんぼりやライトアップの点灯により夜桜を楽しむことができる。

また、堤防の小段は芝生で整備され、清流のせせらぎを聞きながらのお花見ができ、駐車場も河川敷が利用できる。



島根県美都町

市区町村の概要

県西部に位置し、中国山脈の嶺線に近い傾斜の中間地帯にある、四面を山々に囲まれた人口 2,855 人の町。また、高齢化率は 33%で過疎・高齢化が全国的にみても顕著な地域となっている。町の産業は、山陰 1 位の生産を誇る柚子やメロン・イチゴ・ホウレン草などの施設園芸が盛んで広島・関西方面にも出荷されている。また、平成元年にオープンした美都温泉には年間 15 万人の入浴者で賑わっている。

さくらの概要

美都町は「桜と柚子と温泉のまちづくり」をキャッチフレーズに地域振興に取り組んでいる。町内には、県指定文化財・天然記念物に指定されている「金谷城山桜」がシンボルとしてあり、現在「美都町桜の会」(町内外会員総数 160 名)を中心として、桜の苗木の植栽と桜愛護の活動に取り組んでいる。

特に、「美都町を桜の町として有名にしよう」と昭和 63 年から始めた「1 万本桜植栽運動」は、平成 7 年には 1 万本を超え、その後も毎年植栽しており、桜の咲く季節になれば、町内各地で一斉に開花し、町民を始め、この町を訪れる人々の心を和ませている。



高知県佐川町

市区町村の概要

高知県のほぼ中央部、高知市の西方 27km に位置する人口約 15,000 人、世帯数 5,500 の町。高吾北地域の交通、通信、文化、経済の中核として位置づけられている。

さくらの概要

牧野公園の桜は、明治 35 年、牧野富太郎博士が東京染井で発見した桜の種ソメイヨシノを送ってこられ、それを地元の有志が植えたことに始まる。大正 4 年、町が 1,300 本のソメイの苗木を購入し、町内の道路沿いや各地区に植えたことで、名所「桜の佐川」として有名になり、その中心が奥の土居（牧野公園）であった。戦時中は、食料増産ということで畑に開墾されたが、昭和 24 年、町、商工会等により桜やつつじなどが植えられ再び花見処となった。牧野公園には、平成 7・8 年度で、売店棟、便所、駐車場、植栽等の工事を行い、四季を通じて利用できる憩いの場として整備をした。約 2,000 本の桜は、古い街並みとあいまって、情緒あふれる花見ができ、県下一の花見処である。



長崎県大村市

市区町村の概要

長崎県の中央部に位置し、東西 12km、南北 16km、総面積 126.29 平方 km を有する人口 84,724 人（29,576 世帯）の市。

大村藩千年余の歴史の中で城下町として栄え、日本初のキリシタン大名となり、天正遣欧少年使節の派遣などの業績を残した大村純忠や、明治維新の偉業達成に重要な役割を演じた藩士を数多く輩出するなど「歴史のまち」である。

今日では、世界初の海上空港である長崎空港を有し、オフィスパーク大村、大村ハイテクパークの整備により、全国で最も起業しやすいまちとして注目を集めている。

さくらの概要

長崎県随一の桜の名所として有名な大村公園は、大村藩主の居城であった玖島城跡で、約 21ha の広さを誇り、桜のほかつつじ、花菖蒲、アジサイと花の期間が長く続き、3月 25 日から 6 月 20 日まで花まつりで賑わいを見せる。

桜の数は、ソメイヨシノ 1,500 本、オオムラザクラ 300 本、八重桜 200 本とあわせて 2,000 本。

中でも、国指定の天然記念物であるオオムラザクラは、八重桜の二段咲きで花卉の総数が 60～200 枚もある優雅な花で、里桜中の名花と言われている。



熊本県水上村

市区町村の概要

熊本県東南部、宮崎県との県境に位置し、総面積 192.11 平方 km のうち、92% が森林に囲まれた人口約 2,900 人、950 世帯の村。日本三大急流のひとつ、「球磨川」の源がある自然豊かな村。

さくらの概要

昭和 35 年、村の中央部に洪水調節を主目的とした多目的ダム「市房ダム」が完成し、修景事業の一環として昭和 37 年に付け替え道路となったダム湖周辺 15km に一万本の桜が植栽された。その後、昭和 59 年に始まった「くまもと日本一づくり運動」のなかで、当時の県知事であった細川護熙氏の提唱により、市房ダム湖周辺で育まれた一万本の桜を核にした「日本一の桜の里づくり」が始まった。現在、住民総参加の桜の下草刈、空き缶・ゴミ拾い等、住民一人一人の手で育てられている。また、平成 9 年度より樹木医の指導を仰ぎ、土壌改良、間伐等、年間約一千万円の経費を費やし、桜活性化対策事業に取り組んでおり、開始後二年目の後半より、新芽の徒長、花の付きなど目に見えて効果が現れており、今後も継続して行なう予定でいる。



宮崎県北郷町

市区町村の概要

さくらのまち日本一を目指し、昭和 56 年から桜の植栽運動を展開している。温暖な気候と人情豊かな、人口約 5,600 人、2,000 世帯の緑と清流と温泉のまち。

さくらの概要

370 年の歴史を誇る飫肥杉のまちで、この豊かな杉林の緑の中に、色鮮やかに春の訪れを知らせてくれる山桜が数多く生息しているところである。植栽は、自治公民館や各種民主団体、誘致企業等の協力のもと、公共施設周辺や沿道など約 18,000 本程度の植栽を完了している。また、当町は宮崎日南海岸リゾート開発の保護・歴史リゾートゾーンに位置づけられ、静かな高原にリゾートホテル、ゴルフ場が整備されているほか、周辺には緑豊かな自然を生かしたレクリエーション施設や公園を数多く有している。特に高原にはリゾート施設の整備とともに、桜のまちづくりの拠点として桜公園に 10,000 本の桜が植栽され、今後も整備が計画されている。町内の桜愛好家が開発した「日南寒咲一号」は 12 月頃に開花する早咲きの桜である。



埼玉県幸手市

市区町村の概要

関東平野のほぼ中央、埼玉県の北東部に位置し、北は茨城県、西は千葉県に接している。平成 8 年度に市制施行 10 周年を迎えた人口約 58,000 人、18,000 世帯のまち。

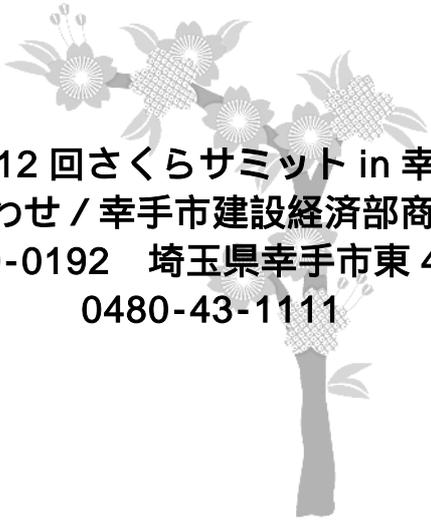
さくらの概要

市内北部の権現堂堤が桜の名所として知られている。堤は約 400 年前に築かれ、江戸期を通して江戸を水害より守った。大正 9 年に約 4 里にわたり桜が植栽されたが、戦中から戦後にかけて伐採されてしまう。その後、昭和 24 年に地元住民等により桜の植栽が進められ、現在約 1km にわたり約 1000 本の桜が続き、例年大勢の花見客で賑わっている。

権現堂堤の桜は、トンネル状に満開になった桜と、周辺に植えられた菜の花とのコントラストが見どころである。



❁ *MEMO* ❁



第12回さくらサミット in 幸手
お問い合わせ / 幸手市建設経済部商工観光課
〒340-0192 埼玉県幸手市東 4-6-8
0480-43-1111